

白根風合戦協会

小川連中

interview 

風合戦アナウンス 落田 雅代 さん



300年の歴史ある 行事を未来へつなぐ

風組にいる父から解説を受けながら観戦したのがきっかけで、落田さんは風合戦への興味を一気に深めた。程なくして、アナウンスする人を募集中との話が舞い込み、迷わず手を挙げた。以来8年が経つ。「観客が聞き取りやすいよう、立って腹から声を出し、自分の声を聞きながら喋るイメージで話している。期間中は家でもつい声が大きくなる」と笑う。初節句などを祝って揚げる「祝い風」を主に担当してきた。「依頼する人にとって祝い風は宝物。気持ちを込めてアナウンスしたい」「私が初節句のアナウンスをした子どもが小学生に成長して風を揚げているのを見ると、とても嬉しくなる」と落田さんは目を細める。

一昨年、ベテランであるアナウンスの先輩が惜しまれながら引退した。今は「祝い風」だけでなく風合戦の実況やその歴史などの話もこなす。「多くの人に風合戦本来の面白さを伝えたい。まだまだ勉強中だが『落田さんに任せてよかった』と言ってもらえるよう頑張りたい」と決意を新たにしている落田さんである。

interview 

地方(じかた)担当 小湊 慶 さん



先人の技を忠実に 正確に伝えていきたい

新飯田祭で、神楽舞や浜おけさなどの手踊りを披露しているのが小川連中である。メンバーは中学1年から70、80代までと多世代に渡り、地元小学生に手踊りも指導している。「踊り手の中から毎年必ず新メンバーが入ってくるので、後継者には困らない。それだけ地元根付いているという証」と小湊さんは胸を張る。

自身は小学3年の頃、篠笛の音色に惹かれ、以来、篠笛一筋。約10年をかけて伝承される曲目を習得した。「似たようにとか真似では、伝承されたことにならない。先人の技を忠実に正確に伝えていくことが一番重要で、一番難しい。我流にならないよう常に気を付けている」「伝統というものは、知識・技術・心意気が備わらないとうまく伝承されない。過去を大切に、今を全力で、未来をしっかり見据えて伝えたい」と話す。

昭和の中頃が新飯田祭の最盛期といわれている。「単に現状維持で祭りを継承するのではなく、少しでもあるべき姿の再興に努めていきたい」と地域の祭りに情熱を注いでいる。



四季折々の新鮮な農産物

県内屈指のフルーツ王国

南区は農産物の宝庫で、県内屈指の生産量を誇る。1年を通じて、直売所や観光果樹園などで四季折々の新鮮な農産物が楽しめる。特に果樹栽培が盛んで、ブドウ・モモ・ルレクチエは県内出荷第一位。日本ナシやイチゴの栽培も盛んである。中ノ口川と信濃川が運んだ肥沃な土壌が果樹栽培を支えている。また、4月から5月初めにかけては、区内の果樹畑でモモとナシの花が満開となる。



南区内の主な観光農園 (南区観光農園協会加盟)

名称	所在地	電話	P12 Map
白根グレープガーデン	鷺ノ木新田 573	0120-362-558	D-1
白根大郷梨中村観光果樹園	大郷 1736-1	0120-04-4174	E-2
フルーツ童夢やまだ農園	清水 8791-2	025-375-4708	A-6
マミヤ園	新飯田 6698	025-374-2759	A-6
池田観光果樹園	新飯田 2584-15	025-374-2305	A-6
白根観光きのご園	上塩俵 1493	025-362-7015	C-2

